

定期報告

2011年6月7日(火)

外気温12°C 室内気温17°C 湿度50%

放射能0.11 μ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

朝食 白飯、納豆、漬物、ウィンナー、みそ汁

昼食 そうめん、おにぎり。

夕食 外食

氏名:中嶋 優太(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:00 町田チームミーティング

08:45 診療前ミーティング

09:00 午前診療開始

調剤投薬業務

撤収に向けた薬の仕分け、対策本部の寺田医師に最終確認

11:40 午前診療終了

12:20 昼食

13:00 午後診療開始

16:00 午後診療終了

肝疾患の患者、手首骨折疑いの患者来所。

骨折の疑いがあったため、周辺診療所にも問い合わせしたが、レントゲン技師や外科医がいないとの理由から釜石市の製鉄記念病院へ紹介となった。

18:00 大槌高校出発

18:30 シーガリアマリンにて入浴

19:10 シーガリアマリン出発

19:40 夕食

22:00 就寝

診療前ミーティング

義手の患者さんは吉里吉里にて一人暮らし。今後は、おおのクリニック受診を勧め、外用剤の塗布を依頼するか、塗布用の自助具を提供する。

体育館の配膳場所に敷き詰めてあった段ボールを撤去、床を次亜塩素酸ナトリウム溶液

で清拭する。

配膳スペースの消毒

三浦管理栄養士から指摘があった体育館配膳場所に敷き詰めていた段ボールが不衛生であることを、朝のミーティングで説明した。代表三浦さんにご理解いただき、昼の配膳が終わってから撤去、消毒に取りかかった。

まず、段ボールを全て撤去し、床を水拭きし、次亜塩素酸ナトリウム希釈液で清拭した。テーブル、その脚も消毒した。

これまでは、体育館床が傷つかないようにと段ボールを敷いていたようだ。テーブルの脚に傷をつけない工夫をし、配膳終了後にテーブルを寄せ、床全体を拭くよう提案した。

消毒終了後、やりたくてもできなかった、やってもらってさっぱりしたなどの声を頂き、白戸医師、三浦管理栄養士、三浦さんともに達成感に包まれた。

急患の対応

昨日のぎっくり腰の男性は排泄に全介助が必要だったため、尿取りパット使用やヘルパー介護の提案もしたが、救急車で釜石病院に搬送することになった。

震災からずっと車中泊を続けている肝疾患を患っている女性がきた。白戸医師によると肝疾患の症状が進んでおり、早急にもとの治療を再開した方がよいとのことだった。明日のミーティングで保健師チームと連携をとり、受診を勧めることにした。

手首骨折の疑いがある患者は、部活中に怪我し、顧問の先生と一緒に来所した。これまでも整形外科がなかった大槌町では、このような症例の救急対応に難がある。

撤収作業

未開封の医薬品を区別し、保管室にあったものも含め、運びやすいように箱詰めした。医薬品の種類によって在庫に偏りがある。

教頭先生からは、医療チーム撤収後に速やかに学校保健室としての復元までを行ってほしいと要望があった。寺田医師に伝達した。

明日の最終医療チームへの申し送りには、学校関係者も同席するようお願いしたい。

明日の予定

・総務担当

車両への給油

総務3人で物理室の掃除、撤収作業

明日の昼食の手配(11:00に避難所に届く)

・板澤薬剤師

薬の配達。OTCの設置の最終調整

撤収から保健室復元の申し送り(健生病院、保健室先生、学校関係者を含めたミーティングの機会を設ける)

・中嶋

調剤投薬業務、調剤室の撤収に向けた仕分け作業、
学校長に排水設備不備の状況報告

氏名:板澤 雅人(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床。
07:00 朝食。
08:00 町田チームミーティング。
08:45 救護所にて全体ミーティング。
09:00 診療開始。
09:20 大槌高校保健室古川先生と面会。
09:30 避難所管理者三浦さんと救急箱打ち合わせ。
10:20 大槌高校出発。
10:30 県立大槌病院仮設診療所視察。
10:40 城山公園避難所視察。つくし薬局挨拶。
11:00 城山避難所出発。安渡、赤浜地区視察。
11:55 大槌高校帰着。
12:20 昼食。
13:00 午後の診療開始。残置薬配達。
13:30 大槌高校帰着。
救急箱整理及び未使用医療用医薬品の整理。
16:00 午後診療終了。保健室古川先生と打ち合わせ。
16:50 打ち合わせ終了。
17:30 急患1名対応。
18:00 大槌高校出発。
18:30 シーガリアマリンにて入浴。
19:10 シーガリアマリン出発。
19:40 夕食。
22:00 就寝。

本日は昨日と比較して患者数は約半数だった。

現在救護所に残っている一般販売医薬品の効率的な利用方法を中嶋薬剤師と検討し、避難所救急箱に利用するのが最も現実的だろうという結論に達した。

小槌神社横で診療を行っている県立大槌病院仮設診療所を視察したが、震災当日の大火は神社周辺を焼き尽くしていた。神社だけが火災を免れたが、鳥居は炭化しながらも残ってお

り、神社の敷地ぎりぎりまで火災があった状況を物語っていた。

本日は今回の支援期間中最も気温が高く、街中の異臭はかなりのものであったが、大槌高校は標高もあり街中から距離もあるため異臭は全く感じられない。

患者数は多くなかったが、診療終了後に柔道の部活で左手親指と手首の脱臼か骨折が疑われる女性がおり、看護師の応急固定のまま釜石製鉄病院へ緊急搬送された。

あと残された時間は半日であるが、決して全員気を緩めることなく任務を全うするよう細心の注意を払いたい。

工藤 源造(総務担当)

体調:良好

行動日誌

- 06:00 起床
- 07:00 朝食
- 08:00 町田ミーティング
- 08:45 救護所カンファレンス
- 09:00 診療開始
- 09:30 宿泊所片付け
- 10:00 大槌市内視察(板澤薬剤師・鈴木理学療法士・三浦管理栄養士)
- 12:00 帰着・昼食
- 13:00 午後診療開始
- 14:00 宿泊所撤収準備
- 16:00 業務終了

大槌町内は片付けが進んでいるが、まだ、手つかずの地域もかなりある。

赤浜地区もやっと片付けの手が入った。奥の地区まで車両で侵入ができるようになったが、まだまだ目を覆いたくなる場面が多々あった。

大槌の復旧、復興はまだまだ先のような気がした。

氏名:八木橋 郁夫(総務担当)

体調:良好

行動日誌

- 06:00 起床
- 07:30 朝食。
- 08:00 町田ミーティング
- 08:45 記念チームとの合同ミーティング
- 09:00 掃除

10:30 昼食準備
11:00 ↓
12:00 昼食
13:00 後片付け
14:00 撤収品仕分け
15:00 ↓
17:00 ↓
18:00 夕食、昼食の為釜石へ↓
19:00 ↓
20:00 ↓
21:00 大槌高校到着
22:00 就寝

本日は、大槌高校避難所の行政担当の小林さんと話す機会があった。明日、町会議員が訪問に来る。地震から3ヶ月経ち、住民と行政とが初めて対談するとのことだった。これまで被災者の方からは、義援金・仮設住宅・雇用の問題等を教えていただき、無力な私は良い方向に向かってほしいと願うばかりだったが、明日の対談でお互いが一致協力して復興に進んでほしいと思った。

野崎 一也(総務)

行動日誌

06:00 起床
07:00 朝食
08:00 町田ミーティング
08:45 記念チームとの合同ミーティング
09:00 朝食片付け
10:00 大槌町内避難所視察
11:00 ↓
12:00 昼食
13:00 昼食後片付け
14:00 撤収品仕分け
15:00 食料買い出し
16:00 撤収品仕分け
17:00 ↓
18:00 夕食、入浴の為釜石へ↓
19:00 ↓
20:00 ↓

21:00 大槌高校到着

22:00 就寝

被災地 3 日目、大槌町内及び城山避難所を視察し同じ避難所でも環境ががらりと変わり、臭いの面でもすごく差があった。大槌町役場方面も廻り、津波の威力をまざまざと感じた。